

## 重点推進方策Ⅴ 生産と消費を結ぶ上伊那の食の展開 上伊那らしさが伝わる地産地消と食農教育の推進

### 地域小中学生等の食育推進 旬ちゃんと地産地消を学ぼう

#### ■背景とねらい

上伊那管内の小中学生への食育推進のため、県政出前講座を活用して、地域の農業や地産地消について学ぶ機会を設け、食育推進を図る。

#### ■本年度の取組と成果

##### 1 食農教育の推進

###### (1) 取組経過

県政出前講座について市町村に問い合わせたところ、辰野町の小学校2校から要望があり、県マーケティング室の担当者と打ち合わせを行い、支援センターからは、上伊那地域の農業や郷土食について担当した。

###### ア 辰野町2校の小学校での取組

9月29日に辰野東小学校体育館で、11月30日には辰野南小学校で全校児童、教職員等を対象に、県のマスコット旬ちゃんも登場し、県・上伊那地域の農業や郷土食についてクイズを交えながら説明を行った。



写真1 出前講座の様子

###### 2 活動の成果

11月の出前講座は、コロナの感染が増えていることから、Zoomを利用したオンライン開催となったが、小学校2校とも地域の農業や郷土食等に関心を持ち積極的に参加している姿が見られ、食農活動の推進が図れたと思う。

#### ■今後の課題と対応

今後も、マーケティング室と連携し、小中学校での食農推進を図っていききたい。

(地域第一係 小野)

### 情報共有等による 地産地消の推進

#### ■背景とねらい

宮田村では、平成16年に「学校給食を育てる会」を発足し、地産地消の学校給食を提供している。本年は、「学校給食を育てる会」の美味しい地元食材で子供を育てたいという思いを引き継いだ、新たな食育組織である「食emi」の活動支援に取り組んだ。

#### ■本年度の取組と成果

##### 1 活動支援

宮田村は米生産が盛んなことから、本年は米粉の消費を広めるための活動に取り組んだ。10月22日に村のイベントである「宮田市」へ米粉を使用した料理を提供する店舗の出店を行った。支援センターでは出店のための準備、販売の支援を行った。

イベントの参加者には子供たちも多く、米粉の料理を美味しそうに頬張る姿が見られた。

3月10日には松本市を拠点に活動する加工組合さくらの組合長である倉科喜美子氏を招き、「米粉料理教室～米粉をおいしく食卓へ～」が開催された。講演会では米粉を使った調理実習や試食、ワークショップが行われた。

参加者からは、さっそく米粉料理をしてみたという意見が多く聞かれた。支援センターでは、講師の紹介や活動のための補助事業活用の支援等に取り組んだ。



写真1 食育講演会の様子

#### ■今後の課題と対応

食育に関する既存の組織と新たな組織での活動の円滑な継承について、今後も支援していく必要がある。

(地域第二係 坂本)

## 販路開拓を希望する生産者支援 (マーケティング研修会の開催)

### ■背景とねらい

生産者が販路開拓にあたり、実需者との商談会等に積極的に参加できるよう、自分の作る農産物等の商品を理解し、提案する力を向上させるために開催した。

### ■本年度の取組と成果

#### 1 研修会の開催

マーケティング部会で研修会開催に向けて検討を行い、令和6年2月21日に、長野県産業振興機構の県産品コーディネーターと県主任専門技術員の協力を得て、マーケティング研修会を開催した。

参加者の募集は、マーケティング部会員が主になり、日頃の活動の中で販路開拓を課題としている生産者や農産加工組織等へ声をかけ、参加希望者へはFCPシートの作成を支援した。

研修会では、県産品コーディネーターから「これからの生産者に必要な販売の知識」と題し、商談にあたっての必要事項と大事なポイントについて話をしていただいた。

主任専門技術員からは、「マーケティングについて考えてみよう!」と題し、マーケティングの基礎について改めて話をしていただいた。

講義の後に、自ら生産している商品(農産物)のプレゼンを参加者にしてもらった。自分の商品の強み等、実需者にどうプレゼンしていくかを考え、発表してもらい講師から助言を伺った。



写真1 研修会の様子

### ■今後の課題と対応

今後の販路開拓支援を継続し、自ら商談会等へ参加する生産者等への支援を行い、実需者ニーズに対応する農業者等を育成する。

(地域第一係 小野)

## 農産物加工組織の活動支援 (のうさん味ネット上伊那の支援)

### ■背景とねらい

農産物に付加価値をつけ、地域活性化のために先駆的に活動してきた加工組織も、高齢化や販売機会の減少など厳しい状況にある。

そこで、加工組織の在り方や活動方法について検討し、活動を支援していく。

### ■本年度の取組と成果

#### 1 研修会の開催

支援センター職員が講師となり、6月8日の総会に併せて、今後の活動の在り方についてワークショップの開催を支援した。



写真1 ワークショップの様子

8月24日には、商品PRのツールとして、SNSをテーマに取り上げてその基礎を、2月26日には、“SNSを実践してみよう”ということで応用研修を行い、参加者がいくつかの商品についてSNSでPRを行うための支援ができた。

#### 2 のうさん味ネットフェアの開催

飯島町の道の駅「花の里いいじま」で、10月28日に開催された「のうさん味ネットフェア」では、味ネットに加入する全組織が参加し、お互いの商品を紹介し合いながら情報交換の場づくりの支援ができた。

味ネットフェアだけでなく、総会、研修会と併せて販売会も開催し、知っていただく機会を増やすことができた。

### ■今後の課題と対応

のうさん味ネット上伊那は高齢化等により加入団体が減少しているが、加工にチャレンジする農家等が見られることから、新規会員の加入を勧め、活性化を図る。

(地域第一係 小野)